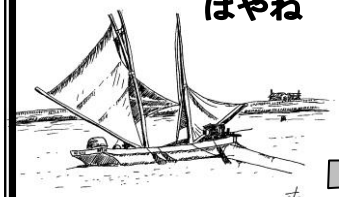
はやね　はやおき　朝ごはん　テレビを止めて外遊び

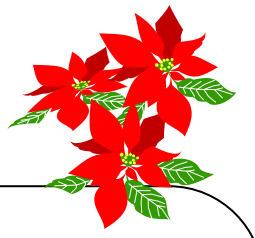


三角帆

＜みんなのめあて＞～がんばる・考える・思いやる～

平成２６年度
別海町立野付小学校
学校だより　№９
平成２６年１２月１日
発行責任者
校長　音 川 忠 志

学びと成長を確かめる12月



２学期のふりかえり

２学期も残すところ１ヶ月となりました。２学期も子ども達のたくさんの成長を発見することが出来、いつも驚かされてばかりでした。１２月は、振り返りの時期です。子ども達が自己目標を振り返るとともにお家の人と一緒に「出来たこと・出来るようになったこと」を確認し、２学期の成長を確かめてほしいです。

また、学校の教育活動の振り返りもあります。「学校評価アンケート」を実施いたしますので、みなさんのご意見・ご要望をお聞かせください。３学期から改善できるものは速やかに実施するとともに、次年度の計画に生かしていきます。

「むごい教育」

戦国時代の駿河の国を治めていた今川義元は、竹千代（後の徳川家康）を人質に取り、部下に「むごい教育をせよ」とだけ命じたそうです。その後、どのような様子かを訊ねると、部下は自信を持って「はい、早朝から起こし水練（今の水泳）をさせ、三食は粗食を与え、昼は馬術や剣術に励ませ、夜は学問と、厳しく教育しております。」それを聞いた義元は、「馬鹿者！それはむごい教育とは言わん！朝は好きなだけ長寝させ、贅沢な食事を与え、武術や学問が嫌というなら無理をさせず、本人が望むように何でも与えてやれば良い。そうすれば、大概の人間は駄目になる。」と、烈火の如く怒ったそうです。

現代ではどうでしょう。ゲームが好きだから、誕生日のたびに買ってあげる。本を読まなくても気にしないで、漫画だけ買い与える。テレビを見ながら勉強しても叱らない。やらなければならないことを後回しにしても叱らない。親や年長者、少年団の上級生にため口をきいても叱らない。等々、「子どもがかわいいから」と思って、つい甘やかしてしまうようなことが多いと思いませんか。

一度身についた習慣は、自我が芽生える中学生になってからは、なかなか治らないものです。小学校の段階だからこそ「今、この子をここで甘やかしては悪い習慣が身についてしまう」と思うものは心を鬼にしてダメと言い切り、家庭と学校が連携しながら子ども達のためになる望ましいしつけを身に付けさせたいものです。

校長　音川　忠志